

彦根市子どもセンターおよび周辺施設に関するサウンディング型市場調査
対話結果の公表について

令和7年4月24日
彦根市こども若者支援課

彦根市は、子どもセンター・荒神山公園・荒神山自然の家の3つの施設について、各施設それぞれの持つ魅力、荒神山の持つ豊かな自然環境と広大な敷地を活用した、全く新しい活用方法を生み出すことによって、この地域の活性化を図りたいと考えております。

今回のサウンディング型市場調査におきましては、これまでにない新たな発想で、クリエイティブで明るく、持続性のあるご意見、ご提案をいただくとともに、民間活用をするための市場性の把握および公募条件の整理を目的として実施いたしました。

つきましては調査結果の概要を下記のとおり公表いたします。なお、公表に当たりましては、参加団体名は公表しないこととし、また、提案内容等に関しましては、参加団体に確認の上、参加団体のアイデアやノウハウに配慮した概要程度としています。

記

1 調査実施対象施設

彦根市子どもセンター
荒神山公園
荒神山自然の家

2 実施期間等

実施要領の公表	令和7年1月7日(火)
現地見学会・説明会の開催	令和7年1月23日(木) 他
サウンディング型市場調査の実施	令和7年2月17日(月)～20日(木)

3 参加者

現地説明会参加者 9社
調査参加者 7社

4 調査結果の概要

項目	調査結果概要
子育て・スポーツ・文化活動の一大拠点とすることはできるか	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域一帯の大自然が持つ魅力や、現状の広大な施設の面積を考慮すると、可能である ・ハード面はもとより、ソフト面でどのようなプログラムを組むかが重要 ・ここに来れば自然体験を含め、他ではなかなかできない体験ができるといった特徴を広く周知 ・他の市の地域とも連動した上で、この地域に訪れてもらうようにしていくことが重要
地域子育て支援拠点事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのための施設である現状を継続していくのであれば拠点事業、またはそれに準ずるような機能は残すべき ・拠点事業自体は現在と同じく無料で可能であると思うが、その他の施設や設備等を有料化するのであれば、その内容や料金設定、来客の動線、無料と有料の区域区分等の慎重な検討と設定が必要
現在実施されているサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業については現状のままの継続が望ましい ・それ以外の屋内施設については、内容の再検討や有料化が必要 ・危険性が高い事業、継続のための費用や手間がかかる事業、施設改修やリニューアル等の費用対効果が見合わない事業は、今後の実施を見合わせる等の事業精査が必要
現在は提供されていない新たなサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域に立ち寄った方々が、季節や天候を問わず休憩をしてもらうことができるような場所の設置 ・飲食についても何らかの方法での提供、それを目的とした集客を見込んだ検討が必要 (キッチンカーまたは目的施設となるような店舗設置等)
施設に対するアイデア、意見等 (全体、共通)	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェや地域イベントの開催 ・市内大学との連携 ・トライアル事業の予算確保および一定期間試験的に事業実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターと公園を一体的に活用したプログラムの実施（管理運営の一元化も検討）
<p>施設に対するアイデア、意見等 (子どもセンター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内遊具設備の設置 ・クリエイティブ工作スペースの設置 ・スケートボード体験スペースの設置 ・地域向けスポーツ教室の実施 ・体験型ワークショップ、食育プログラム、学習プログラムの展開 ・アリーナおよび屋内スペースのリノベーションによる有料化 ・アリーナ（現状のままで）の有料化 ・市外利用者に対する利用料金設定 ・開館時間の短縮による費用軽減
<p>施設に対するアイデア、意見等 (荒神山公園)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大屋根付きイベントスペースの設置 ・飲食ナショナルチェーンの誘致や地元飲食店と連携し地域色を活かした飲食エリアの整備 ・カフェ併設型のドッグランの整備 ・埋立地の制約上、ハード整備は難しい。イベントなどソフト面の充実による賑わいの創出 ・毎週末キッチンカーを出店するなど定期的なイベントの開催 ・アーバンスポーツの体験教室の実施
<p>施設に対するアイデア、意見等 (荒神山自然の家)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場を改修等の投資を行ったうえで運営 ・運動施設を含めたスポーツ合宿・企業研修向け宿泊施設、実施プログラムを費用対効果の面から再検討 ・類似競合施設との差異の明確化および利用料設定の検討 ・現行の宿泊施設は、老朽化および利便性、ならびに安全性の確保が難しいため、宿泊を中止
<p>懸念される点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコスト、ランニングコストについて、どの程度彦根市側からの拠出があるかが重要 ・事業者のリスクを回避できるような費用の分担方法が必要 ・施設を新設した場合、収支は成り立たない ・リノベーションをした場合でも、事業者負担で受け入れ可能な事業者はないと考えられる

	<ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコストが事業者負担となれば事業の成立は厳しい ・リノベーションおよびソフト面の工夫で既存施設を利用した魅力的な運営が可能 ・投棄場が埋め立てられた上に施設が設置されている現状を鑑みると、新規施設建築は事業者負担ではできない ・土砂災害警戒区域に立地している建物については、リスクが大きいため慎重な検討が必要。管理に対する費用対効果を考えると、全体的な調整の中で部分的利用の可能性はある ・安全性を最優先としたリスク管理について、十分な検討が必要
事業スキーム	<ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコストは負担できないが、管理運営を見据えた設計・施工により、効率的・効果的な整備が可能

5 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査により、民間事業者の方々から様々なご意見やご提案をいただきました。今後、対話結果を踏まえて、この地域および各施設の在り方につきまして整理・検討を進めます。